

## 技術ノート KGTN 2010110401

### 現象

GG 上のアプリケーションとして ICA クライアントをホスティングしたところ、「GG → ICA クライアント → アプリケーション」という環境で画面が乱れることがある。

### 説明

GraphOn 社の製品も Citrix 社の製品もサーバサイド・コンピューティングの環境を提供するソフトウェアですが、その実装方式が大きく異なります。GraphOn 社の製品は API Wrapping 方式で実装されており、サーバ側で描画されると、その API の内容が時系列的にかつ忠実にクライアント側へ転送され、クライアントの画面上で再現（描画）されます。Citrix 社の製品は Screen Scraping 方式で実装されており、サーバ側で描画されると、その内容が直ちにクライアント側へ転送されることはなく、グラフィック・メモリ領域を一定間隔で監視する機能によってユーザ・インターフェイス画面情報の変化が検出され、（描画の時系列とは直接関係のない）この画面情報の差分がクライアント側へ送信され、クライアントの画面上で変化があった部分のみが描画されます。

「GG → ICA クライアント → アプリケーション」という環境では、アプリケーションが描画した API の内容および時系列が Citrix 社の製品によって失われるため、アプリケーションの描画処理の内容によっては、GG のクライアント上で忠実に再現されないことがあります。このような現象が発生した場合は、GG 側で対処することは困難で、アプリケーションのソースコードに `Sleep()` 関数を挿入する等の調整を行うことで、描画が正しく再現出来る可能性があります（過去に1件だけ事例があり、試行錯誤で約1ヶ月を要しました）。調整が困難か、または調整を行っても描画が正しく再現されない場合は、現象が発生するウインドウを手動操作で「最小化 → 復元」して再描画させる等の運用回避を行って下さい。

Last reviewed: Nov 04, 2010  
Status: DRAFT  
Ref: NONE  
Copyright © 2010 kitASP Corporation